

## ■まいスキット！連載

# 【家】の匠

匠堂が日本の田舎の住まいを変える

今回は米原に数多く立つ従来の日本家屋を、光熱費が貯蓄にまわる省エネ住宅にするリフォームを紹介させていただきます。

昨年、従来の日本家屋の水廻りを中心とするリフォームのご相談を受けました。カウンタークITCHン、収納、洗面を計画し家事動線を考えた間取りを設計・・・見た目や使い勝手もよくなりますが、変わらないものがあります。住環境と光熱費です。築30年くらいの日本家屋は今の家と比べると寒い家が多いので温度差による体への負担がかかるのと暖房費等の光熱費もたくさんかかってしまいます。

そこで、匠堂が得意とする省エネルギー設計（ゼロエネルギーフォーム）を、従来の日本家屋

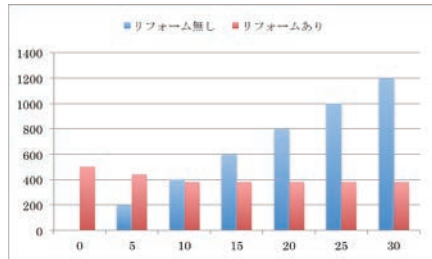
- ◆リフォーム前（光熱費を浪費する寒い家）
  - ・光熱費（年間約40万円の場合）
  - ※30年間でかかる費用は約1,200万円。
  - 一般的な日本家屋でかかる費用です。



- ◆ゼロエネルギーフォーム後（光熱費がかからない暖かい家）
  - ・光熱費（太陽発電の売電）
  - ※導入後10年目までは売電価格が電気代より上回るため30年間では約120万円のプラス！
  - ・ゼロエネルギーフォーム費用
  - 500万円（国からの補助金300万円含む）



30年間でかかる費用は実質約380万円！  
ゼロエネルギーフォームで約820万円もお得です！



くこととなります。

そして、省エネ設計の家は熱効率を考えているため、家計にやさしいだけでなく、夏は涼しく冬は暖かい体にやさしい家となります。この先20年以上お住まいになる予定で光熱費が40万円くらいかかっている日本家屋は、ゼロエネルギーフォームで光熱費の大半を貯蓄に変えることができるといえることですね。

光熱費が高騰している今、匠堂が施工させていただくゼロエネルギーフォームが脚光を浴びています。

今年12月に完成予定です  
ので、来年3月頃に特集いたします。お楽しみに。

に取り入れて30年間でかかる費用を検証してみました。基準としたのは、一般的な日本家屋で年間光熱費が約40万円の場合です。同じ生活をしたとすれば30年間で約800万円も光熱費が浮

## 北村工務店



住：米原市顔戸 1361-20  
Tel: 0749-50-3208  
直通電話 090-5050-1093  
営：8:00～21:00  
休：無休 駐：有  
URL: <http://e-takumido.com>

